



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH

Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY: Lend a Hand

「ロータリー：手を貸そう」

2003～2004年度・国際ロータリーテーマ／ジョナサンB.マジアベ会長

「楽しいロータリー — 手に手、心から心へ輪を広げよう —」

2003～2004年度・東京新南ロータリークラブテーマ／西澤正雄会長

【本日の例会】2003年8月1日 第803回例会

◎卓話 「情報氾濫の時代の危険な陥し穴」 — ニュースの読み方、捉え方 —

内外ジャーナリストの連合体

エディターズ・ルーム代表 椎木輝實氏
(紹介者 小澁会員)

【先週報告】7月25日 第802回例会

卓話 「どうなっている日本の教育」

大東文化大学講師 高野 哲郎氏
(紹介者 石坂会員)



◎幹事報告

8月の例会場はB1 ギャラクシーに変更します。
よろしく願い申し上げます。

◎慶事披露

100%出席祝い／武下 朗君(14年) 福島賢哉君(6年)

◎出席報告

会員63名／出席43名・欠席20名(出席規定免除者6名)
ビジター 3名

8月行事予定

8月は 会員増強拡大月間 です

1日(金) 8月定例理事会

東京全日空ホテル36Fジュピター 例会後13:40～15:00

5日(火) 火曜会

東京全日空ホテル37F アストラル 18:00～19:30

8日(金) 第1回クラブフォーラム

東京全日空ホテルB1 ギャラクシー 例会後13:10～14:00
テーマ「会員増強」

15日(金) 休会(夏休み)

29日(金) 第2回クラブ協議会

東京全日空ホテルB1 ギャラクシー 例会後13:10～14:00
テーマ「ロータリー100周年社会奉仕プロジェクト」

【次週予告】8月8日 第804回例会

第1回クラブフォーラム

「会員増強」

(例会後13:10～14:00)



7月25日／16件 47,000円

2003～2004年度累計 165,000円

多額の御寄付を有難うございました。(敬称略)

高山成雄(東京南RC)／久しぶりです。

石坂二郎／高野さん、今日は卓話に御出まし有難うございます。楽しみにしています。武下朗／14年100%出席、記念ありがとうございました。関、清原両氏の活躍で来週いよいよ麻布ロータリークラブ創立総会、心からおめでとう。福島賢哉／6年の皆出席ありがとうございます。これから楽しませてもらいます。四分一さんご苦労様です。馬場一廣／6月30日の東京麻布ロータリークラブの創立総会に多数のご参加があればうれしいです。関征春／おかげさまで麻布RCの創立総会が30日に開催いたします。落ち着いたら遊びに来ますのでよろしく御願いたします。佐々木忠行／泉さん夫妻の素晴らしいコンサート楽しませて頂きました。四分一さん世話役ご苦労様でした。高須康有／先日の泉ご夫妻のコンサート大変良かったです。泉さん、四分一さんありがとうございました。吉田用親／大腸ガンのポリープ、検査の結果、悪性ではないとの事、ホッとしています。山川政樹／四分一さんニコニコご苦労様です。大日方真／若々しく元気いっぱい四分一さんにあやかりたくて。尾関武男／今朝出勤途中、交通違反でつかまりました。反省し、ニコニコします。小原健／しばらくニコニコごぶさたでしたので。尾上寛／とりあえず庄司さんに言われてニコニコ。庄司泰典／四分一さん今日はニコニコごろう様です。四分一勝／海外にいる3人の孫が無事誕生日を迎えましたので、ちなみに2, 4, 6才



創立 100 周年記念

双子クラブが共に 100 周年に参加

世界社会奉仕、青少年交換、国家共同委員会、あるいは数多い他の国際プログラムおよび推進計画のいずれを通してであっても、国際的なパートナーシップはロータリーの商標です。ロータリー 100 周年の祝賀の一部として、各クラブは他国で一できれば異なった大陸から一奉仕および親睦活動のパートナーとして、双子クラブを見つけて絆を強めるよう奨励されています。

双子クラブ・プログラムの目的は、長期にわたる奉仕のパートナーシップを確立し、他国の理解を高める一方で、100 周年にあたる年にロータリーの国際性を強調することにあります。双子クラブは、片方のクラブまたは双方の地域社会における奉仕プロジェクト、青少年交換や友情交換、またはロータリー青少年指導養成プログラム (RYLA) の行事のような、ロータリー 100 周年を称する合同プロジェクトを実施するよう奨励されています。各クラブは、ロータリー・ビジネス・ポータル www.rotary.org を通して、2004 年 12 月 1 日までに双子クラブの関係を国際ロータリーに報告しなければなりません。クラブが国際パートナーを探すのに役立つ申請書は、オンラインでも入手できます。

ロータリー史を年代記として記録

奉仕の一世紀：「国際ロータリーを語る（仮訳）」、国際ロータリー指定の待望の総合的な歴史書が、2004 年の始めに RI 国際協議会で正式に売り出されます。

生き生きとした文体で綴られた本書では、ロータリーの誕生、発展、および拡大、またその理想、伝統、プログラムが語られています。ロータリー史をよく知っている、あるいはあまり知らないという読者も共に、数々の非常におもしろい事実、ロータリーに対する誇りをかき立てる物語、そしてこれまで出版されたことのない写真などを目にされることでしょう。

著者であるデイビット C・フォーワード氏は、米国ニュージャージー州のマールトン・ロータリー・クラブの会員で、この本の調査・執筆に 3 年間も費やしました。フォーワード氏は 100 名を超えるロータリアンに話を聞き、15 カ国あまりで活動中のロータリーを経験し、たびたび講演の専門家としての旅行の機会を活用しました。

氏は語ります。「私がロータリアンになって 25 年ですが、これまで埋もれていた小作品を発掘したことで、以前よりいっそうロータリアンであることを誇りに思っています。その中の多くは、この本の中で紹介しています。」

氏は、人々がポール・ハリスの理想を賞賛するのはもっともだと語ります。「ですが、今日のロータリーがあるのは、何と言っても名もないロータリアンたちのおかげです。大半の国際団体とは違い、ロータリーでは全プログラムが草の根レベルで始まり、青少年交換からポリオ・

プラス、平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー・センターに至るまで徐々に浸透して行きました。」

フォーワード氏は、氏の本はロータリー史の最後の断ではなく、「第一章」であると付け加えています。氏の望みは、ロータリアンが「次の章を書くために、私に何ができるか」と問い掛けるきっかけになることです。

100 周年記念ポスター・コンテスト

ロータリー 100 周年記念の一環として、クラブおよび地区が児童を対象としたポスター・コンテストを主催するよう奨励されています。

〔応募資格〕 10 歳～13 歳の児童 (2003 年 1 月 1 日現在)

〔作品のテーマ〕ポスターは、地域社会と世界における他の人々への奉仕の提供に関するコンセプトを表現したもの。

〔応募締切〕 2003 年 12 月 15 日までに地区へ提出

より詳しい情報は、<http://centennial.rotary.org> へどうぞ。

ロータリアンに「手を貸そう」と呼びかける RI 会長

2003 年 -04 年度のテーマ、「手を貸そう」で、ジョン・マジアベ RI 会長は各地のロータリアンの心ですでに自然に芽生えている衝動に訴えかけます。

「自分たちと同じ人間が急を要する、生きるか死ぬかの瀬戸際にあるのを見て手を差し伸べ、安全な場所に導きたいと考えるのは、人間の性質としてごく自然なことです」と会長は言います。会長は、何百万もの人々を援助するためにロータリアンの活動を必要とする、要となる 3 つの領域に重点を置くよう要請しています。すなわち、貧困緩和、識字率向上、および保健問題です。

マジアベ会長は、ロータリアン家族委員会の結成という必須事項を含め、四大奉仕部門を活用して、今年度の会長賞を獲得するための目標を設定するよう指導することをクラブに奨励しています。この委員会は、すべてのクラブに家族的な雰囲気推進するより多くの方法を見出す責務を担うことになります。

「このような暖かで、気配りのある雰囲気は、ロータリアンがクラブの外で行なうあらゆる善行を支援します」と会長は述べます。ロータリアン家族委員会は、また、今現在の、会員の退会防止に重点を置いた会員増強に関する強調事項も支援します。

次年度、ロータリアンの参加を促すために立案された行事には他に、双子クラブ・プロジェクトおよび 2004 年規定審議会があります。年度を通して、会員がクラブの親睦活動において援助を必要とする人々に手を貸すにあたり、マジアベ会長はロータリアンに「誰かが援助を必要としていることを知ることによって、全員がより強くなり、世界に直面する事ができる」ことを思い起こさせます。

—「ロータリーワールド」2003 年 7 月号より

東京新南ロータリークラブ [http://www.h3.dion.ne.jp/~newsouth]

〔会長〕西澤正雄 〔副会長〕小杉真史 〔幹事〕村山公士 〔会報委員長〕石井謙次 〔今週の担当〕早川清隆
事務局／〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階 TEL：03-3505-5976 FAX：03-3505-6004 new-south@h9.dion.ne.jp
例会日・例会場／毎週金曜日 12時30分 東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL：03-3505-1111